

> > > > > >

C130

User's Guide



このユーザーズガイドは、付属の CD に Adobe Acrobat の PDF ファイル形式で収録されています。利用できる言語は、次の通りです。英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、ノルウェー語、ポルトガル語、スペイン語、ロシア語、日本語、韓国語、簡体中国語、繁体中国語 このプロジェクトを使用する前に、このガイドに記載されている指示をお読みください。

適合性の宣言

製造元 : InFocus Corporation, 27700B SW Parkway Ave. Wilsonville, Oregon 97070
USA

ヨーロッパ支社 : Strawinskylaan 585, 1077 XX Amsterdam, The Netherlands

InFocus では、このプロジェクトが次の条項および基準に適合していることを保証します。

EMC Directive 89/336/EEC, Amended by 93/68/EEC

EMC: EN 55022

EN 55024

EN 61000-3-2

EN 61000-3-3

低電圧条項 73/23/EEC, Amended by 93/68/EEC

安全性 : EN 60950: 2000

2004 年 2 月

商標

Apple、Macintosh、PowerBook は、Apple Computer, Inc. の商標または登録商標です。IBM は、International Business Machines, Inc. の商標または登録商標です。Microsoft、PowerPoint、Windows は、Microsoft Corporation の商標または登録商標です。Adobe および Acrobat は、Adobe Systems Incorporated の商標または登録商標です。InFocus、ProjectorManager、ProjectorNet、LiteShow、LP は、InFocus Corporation の商標および登録商標です。

FCC 警告

注意 : この機器は、FFC 規則の 15 条に準拠したクラス B デジタルデバイスの制限に適合していることがテストされ、確認されています。これらの制限は、家庭用に設置した場合に害のある干渉に対する妥当な保護を提供するように設計されています。この機器は、ラジオ周波数エネルギーを生成、使用、および放射します。マニュアルの指示通りに設置し、使用しなかった場合は、ラジオ通信に害を及ぼす干渉が発生する場合があります。ただし、特定の設置状況で干渉が発生しないことは保証できません。この機器の電源をオンとオフに切り替えると、オンの場合にラジオやテレビの受信に害のある干渉が発生する場合は、次の方法のいずれかを使って干渉を修正してください。

-- 受信アンテナの向きを変える、またはアンテナの位置を変える

-- 機器と受信器間の距離を離す

-- 受信器が接続されているコンセントとは違うコンセントに機器を接続する

-- 販売代理店やラジオ / テレビに関する知識のある技術者に相談する

カナダ

このクラス B デジタル機器は、Canadian ICES-003 に準拠しています。

Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada

安全規格の承認

UL、CUL、NOM、IRAM、GOST、C-tick

その他、各国による特別な承認が適用される場合があります。製品の承認ラベルを参照してください。

InFocus では、予告なく製品の機能および仕様を変更する権利を有しています。

目次

はじめに	6
プロジェクトの配置	8
プロジェクトとデバイスコネクタのガイド	9
コンピュータの接続	9
ビデオの接続	9
コンピュータソースへの接続	12
必要なコンピュータ接続	12
オプションのコンピュータ接続	12
コンピュータのソースイメージの表示	13
イメージの調節	14
Windows 98 で最初にプロジェクトを使用する場合	15
ビデオ デバイスの接続	17
ビデオデバイスの接続	18
コンポジットビデオ接続	18
S-ビデオ接続	18
VGA 接続	19
ビデオの表示	20
イメージの調節	20
プロジェクトのシャットダウン	22
セットアップのトラブルシューティング	22
リモート コントロールの使い方	30
オーディオの使い方	31
キーパッドボタンの使用	32
コンピュータ イメージの最適化	33
プレゼンテーション機能	33
ビデオ イメージの最適化	34
プロジェクトのカスタマイズ	34
メニューの使い方	35
[画像] メニュー	36
[設定] メニュー	36
保守	42
レンズのクリーニング	42
投影ランプの交換	42
ランプ収納部スクリーンのクリーニング	44
セキュリティ ロックの使い方	44
付録	45
投影イメージ サイズ	45
赤い LED とプロジェクトのエラー	45

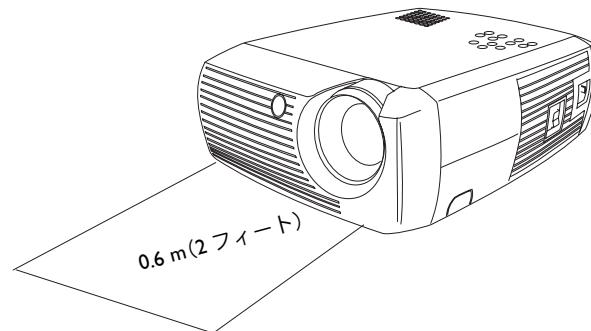
プロジェクトシステムのセットアップに慣れているユーザの方は、付属のクリックセットアップカードを使用してください。プロジェクトの接続および操作について詳しくは、このユーザーズガイドを参照してください。このユーザーズガイドの多言語による電子ファイル バージョンが付属の CD に収録されています。または、ウェブサイトからダウンロードしていただくこともできます。

ウェブサイトには、技術仕様（インターラクティブ画像サイズ計算器、ノートブック表示開始コマンド、コネクタピンの配列、用語集、製品のデータシードなど）、アクセサリを購入できるウェブストア、オンライン登録ページなどがあります。

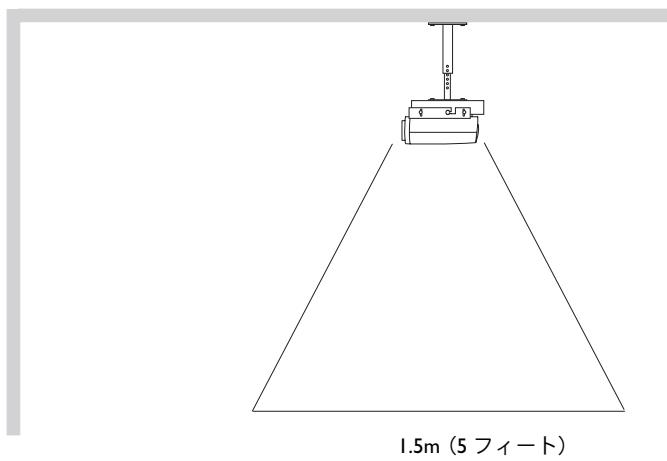
安全に関する重要な操作上の注意

- プロジェクタを 15 度以上の傾斜面に置かないでください。
- プロジェクタの通気または排気口に障害物を置かず、通気のよい場所に置いてください。テーブルクロスや通気口を塞ぐ可能性のある柔らかい布の上にプロジェクタを置かないでください。
- プロジェクタは、暖房および冷房機器の通気口から 1.2 m (4 フィート) 以上離れた場所に置いてください。
- InFocus により認定されている天井吊り方式のみを使用してください。
- 付属の電源コードのみを使用してください。サーボ保護されたコンセントの使用をお勧めします。
- 正しい起動およびシャットダウン手順については、このマニュアルを参照してください。
- ランプが破損することは稀ですが、万が一破裂した場合を考慮して、プロジェクタの周りに食べ物を置かないようにしてください。また、プロジェクタの側面に物を置かないようにしてください。破損したランプのクリーニングおよび取り扱い後は、必ず手を洗浄してください。この製品には、ごく少量の水銀を含むランプが付属しています。この製品を廃棄する場合は、地域、州や都道府県、国の規則および法律に従ってください。詳しくは、www.eiae.org を参照してください。

画像の質を維持し、プロジェクタの寿命時間を越えるランプ時間を達成するため、マニュアルに記載されている手順に従ってください。これらの手順に従わない場合は、完全に保証が適用されない場合があります。保証に関する詳細は、このユーザーズガイドの終わりにある「保証」を参照してください。



プロジェクタの前面 0.6 m (2 フィート) 以内に物を置かないでください。
また、このエリアに立たないようにしてください。
天井吊り設置には、このエリアが 1.5 m (5 フィート) になります。



はじめに

この製品は、接続、使用、保守が簡単なデジタルプロジェクタで、ビジネスでのプレゼンテーションから家庭でのビデオ鑑賞まで、さまざまな用途に使用できます。このプロジェクタは、XGA 1024x768 解像度を持ち、次のような多彩なコンピュータおよびビデオ デバイスとの互換性があります。

- ほとんどの標準のビデオデッキ、DVD プレーヤ（プログレッシブおよびインターレース）、プログレッシブ DVD (480p および 576p 形式)、HDTV ソース (1080i、1035i、720P HDTV 形式)、テレビ、衛星放送チューナ、ビデオカメラ、ビデオゲーム、レーザーディスクプレーヤ。
- ノートブック コンピュータを含むIBM互換のコンピュータ（解像度は 1280x1024 まで）。
- Apple® Macintosh® および PowerBook® コンピュータ（解像度は 1280x1024 まで）。

製品の仕様

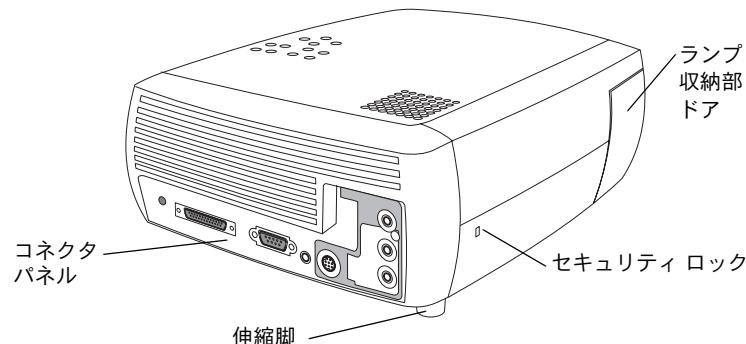
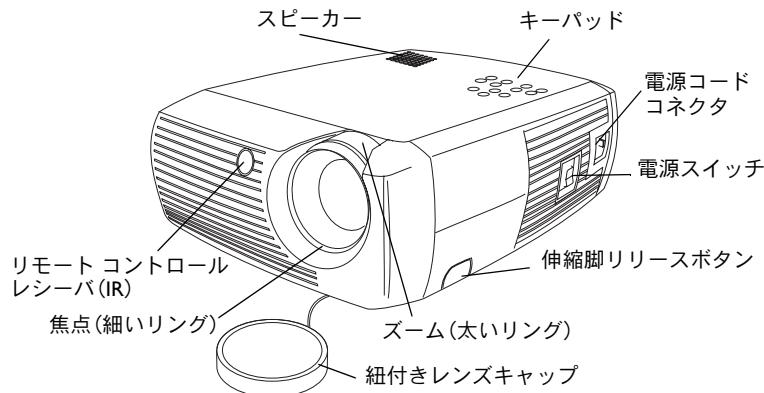
仕様は、予告なく変更されることがあるため、マルチメディア プロジェクタの最新仕様については、弊社ウェブサイトを参照してください。ウェブサイトのアドレス情報は、このユーザーズ ガイドの裏カバーの内側に記載されています。

アクセサリ

プロジェクタに付属の標準アクセサリは、梱包リストに含まれています。オプションのアクセサリについては、プロジェクタに同梱されているアクセサリのカタログまたは弊社ウェブサイトをご覧ください。ウェブアドレスは、このガイドの裏カバー内側に記載されています。

オンライン登録

プロジェクタをオンラインで登録すると、製品のアップデート、通知、登録のお礼を提供させていただきます。ウェブアドレスは、このガイドの裏カバー内側に記載されています。



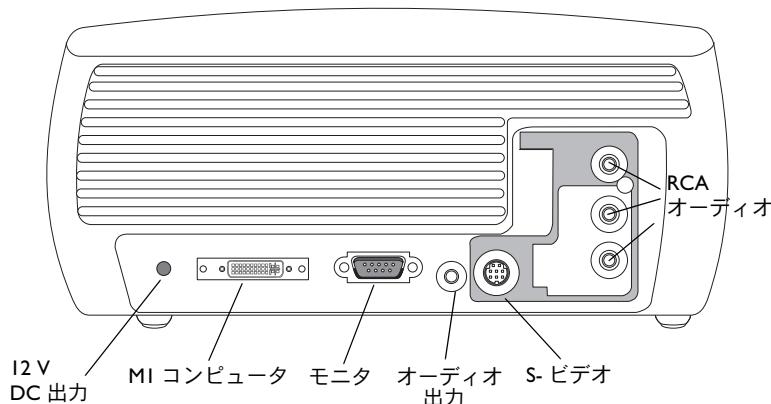
コネクタパネル

プロジェクタには、次のコンピュータおよびビデオ接続オプションがあります。

- コンピュータおよびビデオ用の M1
- S-ビデオ
- コンポジット RCA オーディオ / ビデオ

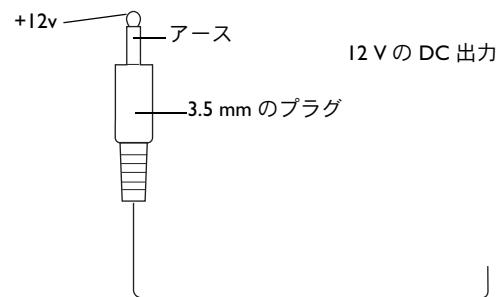
プロジェクタには、次のコネクタも付属しています。

- モニタ出力
- オーディオ出力
- 12 V DC 出力（下記参照）



12 V DC 出力

3.5 mm のミニジャック トリガーは、12 V の DC 出力を提供します。トリガーは、プロジェクタをオンにしている状態で定常出力を提供します。これには、さまざまな用途があります。たとえば、12 V の DC 出力ケーブルを持つスクリーンにプロジェクタを接続すると、プロジェクタをオンにした場合にスクリーンを下げ、オフにした場合にスクリーンを収納位置に戻すことができます。12 V の DC 出力を使用するには、まず安全プラグを取り外してください。



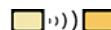
たとえば、画面リレーへ(詳しくは、スクリーンの説明書を参照)

ワイヤレスによる投影

InFocus® に付属のプロジェクタの M1 コネクタを使用します。

LiteShow® ワイヤレス アダプタおよびソフトウェアは、ケーブルを使わない投影が可能になります。詳しくは、InFocus の認定代理店にお問い合わせになるか、このユーザーズガイドの裏面に記載されている InFocus のウェブページをご覧ください。

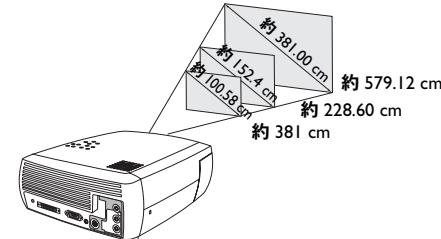
InFocus. LiteShow.
Wireless Freedom for Your Projector.™



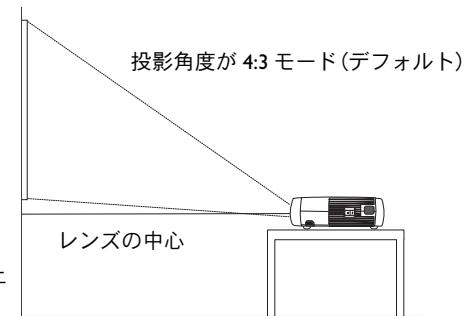
プロジェクタの配置

プロジェクタの配置を決めるには、スクリーンのサイズと形状、コンセントの位置、プロジェクタとその他の機器との距離を考慮してください。次に一般的なガイドラインを示します。

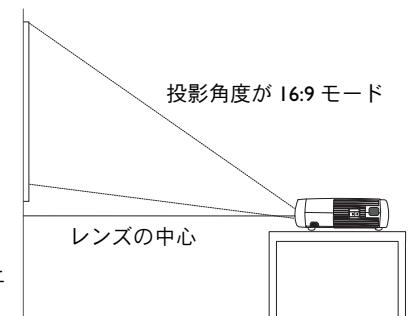
- プロジェクタは、平面な表面にスクリーンに直角になるように置いてください。プロジェクタは、投影するスクリーンから少なくとも 1.95 m (6.4 フィート) 離してください。
- プロジェクタは、コンセントから 3 m (10 フィート) 以内、ビデオデバイスから 1.8 m (6 フィート) 以内に配置してください（延長ケーブルを使用する場合はこれ以上の距離で配置できます）。ケーブルの接続に十分な空間を確保するため、プロジェクタは壁やその他の物体から 0.15 m (6 インチ) 以上離した場所に置いてください。
- プロジェクタを天井吊りに設置する場合は、設置方法について天井吊りキットに付属の設置ガイドを参照してください。イメージを上下反対に投影するには、39 ページページの「天井吊り」を参照してください。InFocus では、認定の天井吊り方法を使用することを推奨しています。
- プロジェクタをスクリーンから適切な距離だけ離した位置に置きます。プロジェクタのレンズからスクリーンまでの距離、ズーム設定、ビデオ形式により、投影されるイメージのサイズが決定されます。右上の図は、投影されるイメージのサイズを示しています。スクリーンとの距離に対するイメージのサイズについて詳しくは、[i 投影イメージサイズページ 45](#) を参照してください。
- 設定している角度によってイメージの投影位置が変わります。プロジェクタが 4:3 モード（デフォルト）の場合は、イメージのオフセットが 112.2% になります。これは、約 3 m の高さのイメージがある場合、イメージの下端はレンズの中央から約 37 cm 上に投影されることを意味します。
- プロジェクタが 16:9 モード（デフォルト）の場合は、イメージのオフセットが 132.9% になります。これは、約 3 m の高さのイメージがある場合、イメージの下端はレンズの中央から約 1 m 上に投影されることを意味します。
- 16:9 および 4:3 モードについて詳しくは、[i ビデオデバイスの接続ページ 17](#) を参照してください。



約 3 m(10 フィート)の高さ
イメージ



約 3 m(10 フィート)の高さ
イメージ



イメージの下端が
レンズの中央から
1.28 m (3.29 フィート)上

プロジェクタとデバイスコネクタのガイド

次の図と説明は、コンピュータ、標準のビデオデッキ、DVD プレーヤー（プログレッシブおよびインターレース）、HDTV ソース（1080i、1035i、720P HDTV 形式）、テレビ、衛星放送チューナー、ビデオカメラ、ビデオゲーム機器（プログレッシブおよびインターレース）、レーザーディスクプレーヤーなどの、入力デバイスから最高の解像度を得るために、どのコネクタを使用したらよいかを示すガイドです。

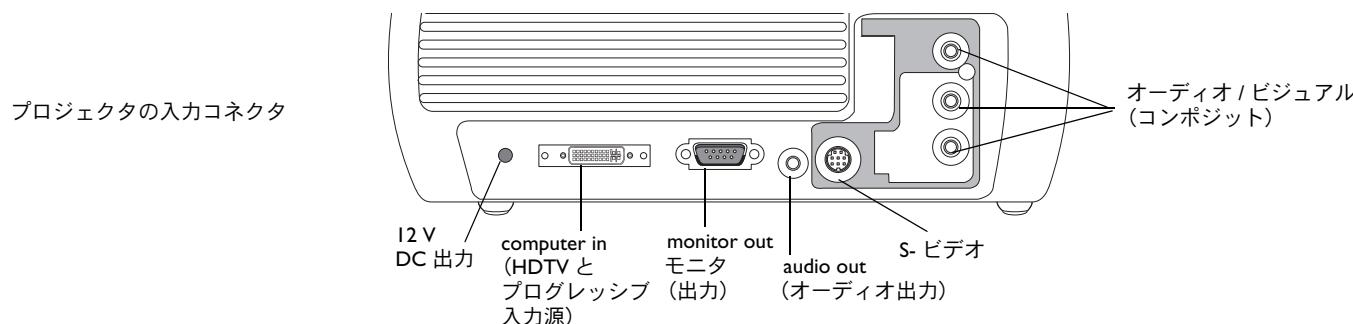
コンピュータの接続

コンピュータの接続には、付属のコンピュータ ケーブルの VGA および USB 端をコンピュータに、もう一方の端（M1）をプロジェクタの **Computer In** 入力に接続します。コンピュータ ケーブルの USB 端を使うと、リモート コントロールを使って、PowerPointTM プрезентーションのスライドを進めることができます。コンピュータとプロジェクタのセットアップ情報については、12 ページを参照してください。

ビデオ接続

ビデオの接続では、まずプロジェクタに接続する出力コネクタの種類を決定します。ビデオ デバイスに複数の出力がある場合は、より画質の良くなる出力を選択します。オプションには、S- ビデオ（高画質）およびコンポジット ビデオ（中程度の画質）があります。

プロジェクタを HDTV ソースに接続する場合は、**Computer In**（コンピュータ入力）とラベルの付いたプロジェクタの M1 コネクタを使用してください。HDTV およびプログレッシブ入力源は、プロジェクタのコンピュータ コネクタを通して扱ってください。M1- コンポーネント アダプタ（オプションのアクセサリ）を使って、プログレッシブ入力源をプロジェクタのコンポーネント コネクタに接続することもできます。S- ビデオ ポートは、プログレッシブ入力源を持つ機能としては動作しません。



ビデオ デバイス	ビデオの互換性	デバイス コネクタ	アダプタまたはラベルの付いたコネクタに接続されている場合	セットアップの指示	メモ
標準のテレビ (HDTVではないテレビ) ケーブル、デジタルケーブル、衛星放送テレビ、DVD、ビデオデッキ	NTSC、PAL、SECAM フォーマット	コンポジット ビデオ または S- ビデオ	コンポジット ビデオ または S- ビデオ	I8 ページのコンポジット ビデオ接続 I8 ページの S- ビデオ接続	プログレッシブ (HDTV など) 入力源では使用不可。 II ページを参照してください。
標準のビデオカメラ	NTSC、PAL、SECAM フォーマット	コンポジット ビデオ または S- ビデオ	コンポジット ビデオ または S- ビデオ	I8 ページのコンポジット ビデオ接続 I8 ページの S- ビデオ接続	プログレッシブ (HDTV など) 入力源では使用不可。 II ページを参照してください。
標準のビデオゲーム機器	NTSC、PAL、SECAM フォーマット	コンポジット ビデオ または S- ビデオ	コンポジット ビデオ または S- ビデオ	I8 ページのコンポジット ビデオ接続 I8 ページの S- ビデオ接続	プログレッシブ (HDTV など) 入力源では使用不可。 II ページを参照してください。

ビデオ デバイス	ビデオの互換性	デバイス コネクタ	アダプタまたはラベルの付いたコネクタに接続されている場合	セットアップの指示	メモ
HDTV (ハイビジョンテレビ)	1080i、720p	VGA コンポーネント ビデオ	Computer In オプションの MI-コンポジット アダプタを使って Computer In へ	19 ページの VGA 接続 19 ページの MI-コンポーネント アダプタ	コンポーネント 480i では使用不可
プログレッシブ DVD	1080i、720p コンポーネント 480p	VGA コンポーネント ビデオ	Computer In オプションの MI-コンポジット アダプタを使って Computer In へ	19 ページの VGA 接続 19 ページの MI-コンポーネント アダプタ	コンポーネント 480i では使用不可
プログレッシブ ビデオゲーム機器	1080i、720p コンポーネント 480p	VGA コンポーネント ビデオ	Computer In オプションの MI-コンポジット アダプタを使って Computer In へ	19 ページの VGA 接続 19 ページの MI-コンポーネント アダプタ	コンポーネント 480i では使用不可

コンピュータソースへの接続

必要なコンピュータ接続

付属のコンピュータ ケーブル（ビデオ デバイスの接続には 17 ページを参照）の一端をプロジェクタの青色の **Computer In**（コンピュータ入力）コネクタに接続します。もう一方の端（USB および VESA）をコンピュータの USB および VGA ポートに接続します。デスクトップコンピュータを使用している場合は、まずコンピュータのビデオポートからモニタ ケーブルを取り外してください。

この接続を使うと、リモートコントローラを使って、PowerPoint のプレゼンテーションでスライダを進めることができます。USB 機能を使用するには、USB ドライバをインストールしなければなりません。詳しくは、16 ページを参照してください。

黒い電源ケーブルをプロジェクタの背面にある **Power**（電源）コネクタに接続し、プラグをコンセントに差し込みます。

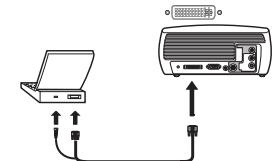
注意：必ずプロジェクタに付属している電源コードを使用してください。

オプションのコンピュータ接続

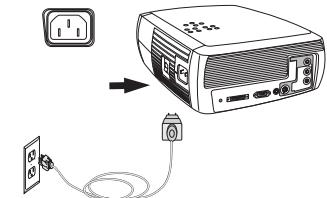
プレゼンテーションでサウンドを使用する場合は、オーディオ ケーブル（含まれていません）をコンピュータおよびプロジェクタの該当するコンピュータと赤や白の **Audio In**（オーディオ入力）コネクタに接続します。

デスクトップコンピュータを使用していてプロジェクタ画面とコンピュータの画面の両方にイメージを表示する場合は、コンピュータのモニタケーブルをプロジェクタの **Monitor Out**（モニタ出力）コネクタに接続します。

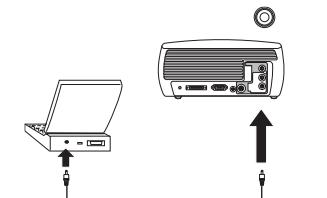
コンピュータ ケーブルを接続



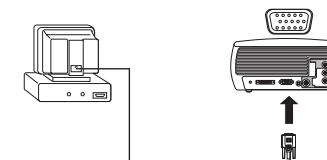
電源コードを接続



オーディオ ケーブルを接続



モニタ ケーブルを接続



コンピュータの入力源イメージの表示

レンズ キャップを取り外します。

プロジェクタの側面にある **Power** (電源) スイッチをオンにします。

LED が緑色に点滅し、ファンが回転します。ランプがオンになると、起動画面が表示され LED が緑色に点灯します。イメージが完全な明るさになるまで 1 分ほどかかる場合があります。

? **起動画面が表示されない場合** 22 ページを参照してください。

コンピュータの電源を入れます。

コンピュータのイメージがプロジェクタの画面に表示されるはずです。イメージが表示されない場合は、プロジェクタのキーパッドで **Computer** (コンピュータ) ボタンを押します。

コンピュータで Windows 98 を使用している場合は、ドライバのセットアップ処理について Windows 98 で最初にプロジェクタを使用する場合ページ 15 を参照してください。

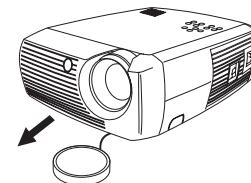
ノートブック コンピュータの外部ビデオポートがアクティブになっていることを確認してください。

プロジェクタを接続しても、多くのノートブック コンピュータの外部ビデオポートは自動的にアクティブにはなりません。FN + F8 や CRT/LCD などのキー操作を使って、外部ディスプレイのオンとオフを切り替えます。CRT/LCD やモニタの記号が付いたファンクションキーを見つけます。FN とラベルの付いたファンクションキーを同時に押します。ノートブック コンピュータ特有のキー操作については、ノートブック コンピュータに付属のマニュアルを参照してください。

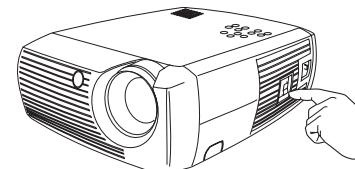
? **ノートブック コンピュータのイメージが表示されない場合**

キーパッドの **Auto Image** (自動イメージ) ボタンを押してみてください。
23 ページを参照してください。

レンズ キャップを外す



電源スイッチを入れる



コンピュータの電源をオンにする

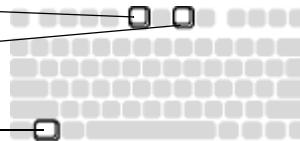


ノートブック コンピュータの外部ポートを有効にする



モニタ キー

または LCD/CRT キー



FN キー

イメージの調節

必要ならば、リリース ボタンを押して伸縮脚を伸ばし、プロジェクタの高さを調節します。

必要ならば、プロジェクタの背面にある水平脚を回転させて水平度を調節します。

プロジェクタの前面にある通気口は熱くなりますので、通気口に手を近づけないようご注意ください。

プロジェクタをスクリーンに対して 90 度の方向でスクリーンから適切な距離を離した位置に設置します。

スクリーンのサイズと距離のリストには、45 ページを参照してください。

ズームまたは焦点を調節します。

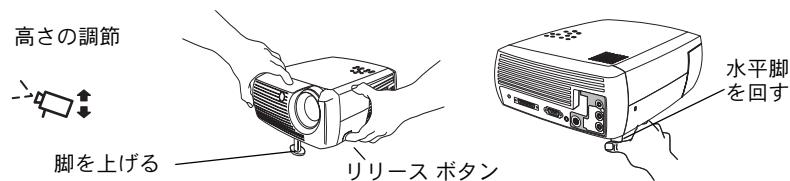
イメージが正方形でない場合は、キーパッドのボタンを使ってキーストーンを調節します。

上の **Keystone** (キーストーン) ボタンを押すと、イメージの上部サイズを小さくできます。下の **Keystone** (キーストーン) ボタンを押すと、イメージの下部サイズを小さくできます。

[画像] メニューで [コントラスト] または [明るさ] を調節します。

これらのメニュー調節については 36 ページを参照してください。

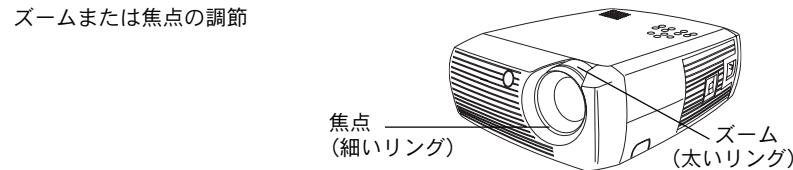
高さの調節



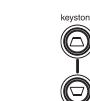
距離の調節



ズームまたは焦点の調節



キーストーンの調節



[画像] メニューの調節



Windows 98 で最初にプロジェクトを使用する場合

Windows 98 を実行しているコンピュータにプロジェクトを最初に接続すると、コンピュータがプロジェクトを「新しいハードウェア」として認識し、[新しいハードウェアの追加] ウィザードが表示されます。このウィザードを使って Windows オペレーティングシステムにインストールされているドライバから正しいドライバを読み込むには、画面に表示される指示に従います。

Windows 2000、Windows ME、Windows XP を実行している場合は、これらの手順をスキップして 14 ページページの「イメージの調節」に進んでください。

a [次へ] をクリックしてドライバの検索を開始します。

b [使用中のデバイスに最適なドライバを検索する (推奨)] が選択されていることを確認してください。それから、[次へ] をクリックします。

c チェックボックスの選択をすべて解除して [次へ] をクリックします。Windows が自動的にドライバを見つけます。このドライバが削除されている場合は、Windows のオペレーティングシステム CD を使ってドライバを再度読み込んでください。

d Windows がドライバを見つけたら、ドライバをインストールする準備が整います。
[次へ] をクリックします。



USB マウスケーブルを接続していない場合は、このページの手順をスキップしてください。

Windows 98 の場合 :

- USB ケーブルを接続した場合は、[新しいハードウェアの追加] ウィザードが再度表示されます。USB 機能を使用するには、ドライバをインストールしなければなりません。
- **ウィザードは次のように 3 回起動されます。**

最初は、USB コンポジットデバイスを検出します。

2 回目は USB ヒューマンインターフェイスデバイス（キーボード用）を検出します。

3 回目は USB ヒューマンインターフェイスデバイス（マウス用）を検出します。

Windows 2000、Windows ME、Windows XP の場合 :

- USB ドライバは自動的にインストールされます。

ビデオデバイスの接続

プロジェクタには、ビデオデッキ、DVD プレーヤ、ビデオカメラ、デジタルカメラ、ビデオゲーム機器、HDTV 受信器、テレビチューナなどのビデオ デバイスを接続できます。赤と白の A/V コネクタを介した、オーディオ入力も可能です。内蔵スピーカーから音を出すには、プロジェクタに直接オーディオを接続します。または、Audio Out (オーディオ出力) コネクタを使って、オーディオを別のステレオシステムに接続することもできます。

プロジェクタは、ビデオ出力が可能なほとんどのビデオデバイスに接続できます。ケーブルや衛星放送の契約先から家庭に配線されている同軸ケーブルにプロジェクタを直接接続することはできません。信号は、まずチューナを介する必要があります。チューナの例には、デジタルケーブル ボックス、ビデオデッキ、デジタルビデオカメラ、衛星放送用テレビボックスなどがあります。基本的に、チャンネルを変更できるデバイスはチューナとして考えられます。

プロジェクタに接続する前に、使用するアスペクト比を決定します。プロジェクタのアスペクト比設定は、プロジェクタの [画像] メニューから行います。詳しくは、36 ページを参照してください。

アスペクト比とは

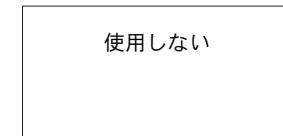
アスペクト比は、イメージの幅の高さに対する比で表されます。テレビ画面は通常 4:3 です。このアスペクト比は、このプロジェクタのデフォルトです。HDTV やほとんどの DVD では、アスペクト比が 16:9 です。スクリーンに投影する場合は、スクリーンのサイズと形状によりアスペクト比を選択します。白い壁に投影する場合は、スクリーンのサイズに制限はありません。投影する内容によって 4:3 または 16:9 のアスペクト比を選択することもできます。通常テレビ番組は 4:3、ムービーは 16:9 です。

16:9 のスクリーンを使用する場合は、アナログフィックムービーや HDTV では 16:9 のアスペクト比、4:3 のコンテンツでは原像画像を選択します。4:3 のスクリーンを使用する場合は、アナログフィックムービーや HDTV では 16:9 のアスペクト比を使用します。ただし、4:3 のコンテンツでは、4:3 (スクリーンいっぱいにイメージを表示) または原像画像 (ダイレクトピクセル マッピング) のいずれかを選択できます。アナログフィックムービーは、DVD プレーヤーが 16:9 のテレビに出力するように設定されている場合にのみ正しく表示されることに注意してください。

4:3 スクリーン



16:9 スクリーン



4:3
モード



16:9
モード



ネイティブ
モード
(NTSC
のみ)

ビデオ デバイスの接続

コンポジット ビデオ接続

付属のオーディオ / ビデオケーブル (A/V) の黄色いコネクタをビデオデバイスのビデオ出力コネクタに差し込みます。もう一方の黄色いコネクタをプロジェクタの黄色い **Video** (ビデオ 2) コネクタに差し込みます。

白いコネクタをビデオデバイスの左のオーディオ出力コネクタに、赤いコネクタをビデオデバイスの左のオーディオ出力コネクタに差し込みます。残りの白いコネクタをプロジェクタの白い **audio in** (オーディオ入力) コネクタに、赤いコネクタをプロジェクタの赤い **audio in** (オーディオ入力) に差し込みます。

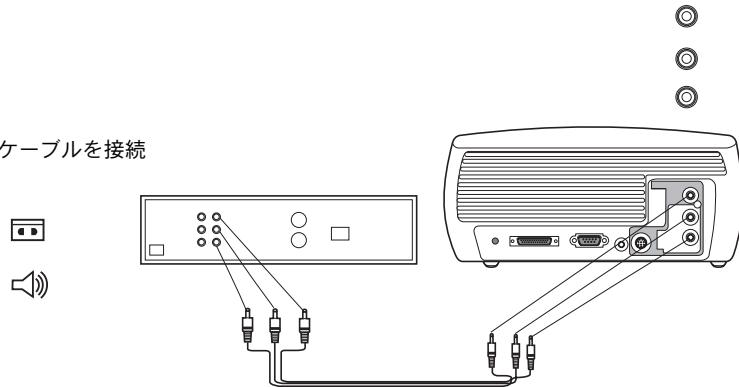
コンポジット接続のビデオ出力は、S-ビデオ接続に比べて画質が劣ることに注意してください。

S-ビデオ接続

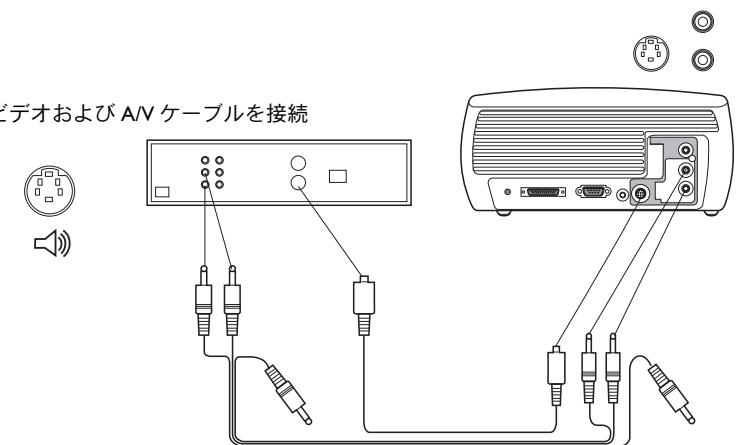
ビデオデバイスが丸い 7 つのピンを持つ S-ビデオコネクタを使用する場合は、S-ビデオケーブル (オプションのアクセサリ) をビデオデバイスの S-ビデオコネクタとプロジェクタの **S-Video** (S-ビデオ) コネクタに差し込みます。上記のように直接 A/V ケーブルの赤と白のオーディオコネクタを使用します (A/V ケーブルの黄色いコネクタは使用しません)。

S-ビデオを使うと、コンポジットより高い画質のビデオ出力を得られます。

A/V ケーブルを接続



S-ビデオおよび A/V ケーブルを接続

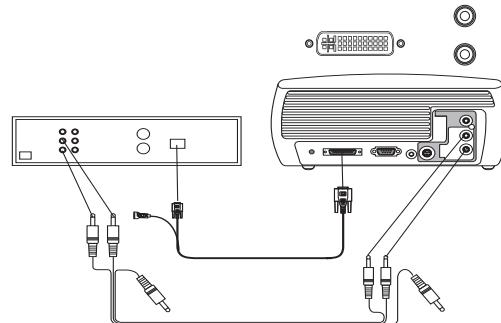


VGA 接続

ビデオデバイスが 15 ピン VGA 出力を持っている場合は、付属のコンピュータケーブルの一端をビデオソースの VGA コネクタに差し込みます。このコネクタには、「モニタへ」などのラベルが付いている場合があります。ケーブルの M1 の端をプロジェクタの **Computer In** (コンピュータ入力) コネクタに差し込みます。このケーブルの USB 端は、ビデオデバイスには接続しないでください。

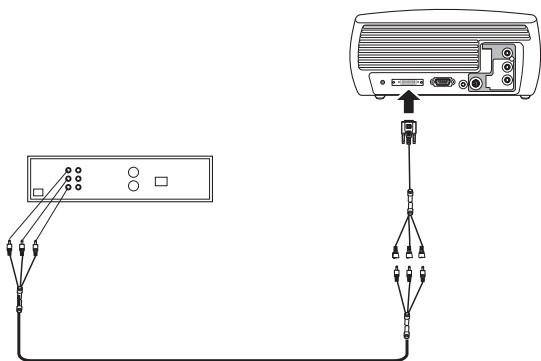
前のページで説明されているように、A/V ケーブルの赤と白のオーディオ コネクタを使用します (A/V ケーブルの黄色いコネクタは使用しません)。

コンピュータと
A/V ケーブルを接続



M1-コンポーネント アダプタ

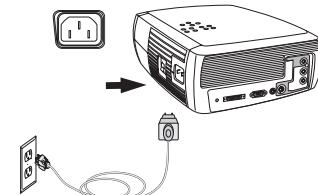
プログレッシブスキャン DVD や HD 入力源を接続するには、M1-コンポーネントアダプタ (オプションのアクセサリ) を使用します。コンポーネントケーブル (付属していません) の一端をアダプタに接続します。アダプタの M1 の端をプロジェクタの Computer 1 (コンピュータ 1) コネクタに接続します。



電源ケーブルをプロジェクタの背面にある **Power** (電源) コネクタに接続し、プラグをコンセントに差し込みます。

注意: 必ずプロジェクタに付属している電源コードを使用してください。

電源コードを接続



ビデオの表示

レンズ キャップを取り外します。

レンズ キャップを外す



プロジェクタの側面にある**電源**スイッチを**オン**にします。

電源スイッチを入れる

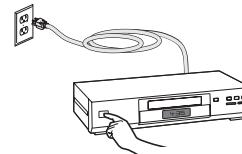


LED が緑色に点滅し、ファンが回転します。ランプがオンになると、起動画面が表示され LED が点滅から点灯に変わります。イメージが完全な明るさになるまで 1 分ほどかかる場合があります。

? 起動画面が表示されない場合 23 ページを参照してください。

ビデオ デバイスを接続して電源を入れます。

ビデオ デバイスの電源を入れる



? イメージが表示されない場合

Source (入力源) または **Auto Image** (自動イメージ) を押してみてください。23 ページを参照してください。

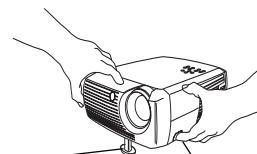
イメージの調節

リリース ボタンを押して伸縮脚を伸ばし、プロジェクタの高さを調節します。

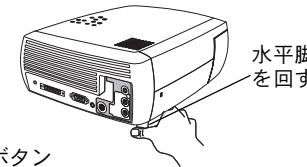
高さの調節



脚を上げる



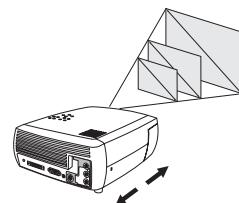
リリース ボタン



水平脚
を回す

必要なら、プロジェクタの背面にある水平脚を回転させて水平度を調節します。

距離の調節

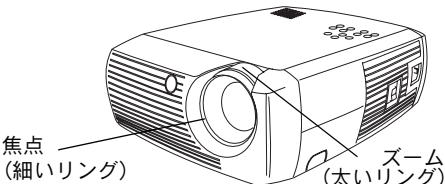


プロジェクタをスクリーンに対して 90 度の方向でスクリーンから適切な距離を離した位置に設置します。

スクリーンのサイズと距離のリストには、45 ページを参照してください。

ズームおよび焦点を調節します。

ズームおよび焦点の調節



イメージが正方形でない場合は、キーパッドのボタンを使ってキーストーンを調節します。上の **Keystone** (キーストーン) ボタンを押すと、イメージの上部サイズを小さくできます。下の **Keystone** (キーストーン) ボタンを押すと、イメージの下部サイズを小さくできます。

キーストーンの調節



キーパッドまたはリモート コントロールで音量を調節します。

音量の調節



[画像] メニューで [コントラスト]、[明るさ]、[色]、[色合い]、[アスペクト比] を調節します。メニューとその調節については 36 ページを参照してください。

アスペクト比については、DVD プレーヤでは最高の画質を得るために 16:9 に設定する必要があることに注意してください。アスペクト比について詳しくは、17 ページを参照してください。

[画像] メニューオプションの調節 画面サイズ(アスペクト比)を含む



.. 画像	
◀	前の
□	キーストーン修整 50
●	コントラスト 50
★	明るさ 50
○	色 50
●	色合い 50
□	スクリーン・セーバー ▶
□	モード選択 ▶
□	上級設定 ▶

プロジェクタのシャットダウン

30 分間アクティブなソースが検出されないと、プロジェクタが自動的に黒い画面を表示します。この黒い画面により、プロジェクタの寿命が伸びます。アクティブなソースが検出されるか、リモートコントロールかキーパッドのボタンを押すとイメージが再度表示されます。

スクリーンセーバー

[設定] > [システム設定] メニューで [スクリーンセーバー] をオンにして、黒い画面を表示するまでの分数を指定できます。39 ページを参照してください。

節電モード

プロジェクタには、アクティブな信号源がなく、プロジェクタで操作を行わない状態が 20 分続くと、ランプを自動的にオフにする節電機能が搭載されています。デフォルトで、この機能はオフになっています。39 ページを参照してください。

プロジェクタの電源オフ

このプロジェクトは、電源スイッチをオフ位置に切り替えるだけで電源をオフにできます。

また、リモートコントロールの **Power (電源)** ボタンを押しても、実行中のプロジェクタをオフ状態にできます。**Power (電源)** ボタンを 2 回押すと（1 回目は節電処理、2 回目は電源オフ）、ランプがオフになり LED が 1 分間緑色に点滅します。この時、ランプを冷却するために、ファンは継続して回転しています。LED が緑色に点滅している間は、プロジェクタはキーパッドやリモートコントロールからの入力を受け付けていません。

ランプが冷えると LED の緑のライトが消え、ファンの回転が最小スピードに落ちます。プロジェクタの電源を切るには、電源スイッチをオフ位置に切り替えます。

注意：プロジェクタをオフにすると、電源を再びオンにする前に 1 分間待機しなければなりません。これにより、ランプが正しく冷却されます。リモートコントロールを使ってプロジェクタの電源をオフにした場合は、再びオンにするまでに 1 分間待つ必要はありません。

セットアップのトラブルシューティング

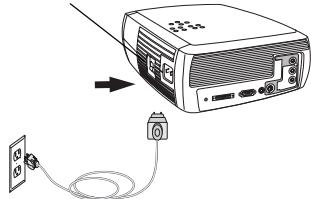
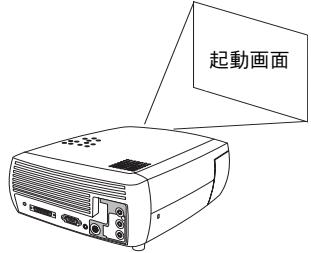
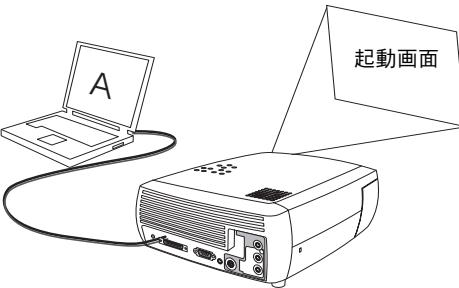
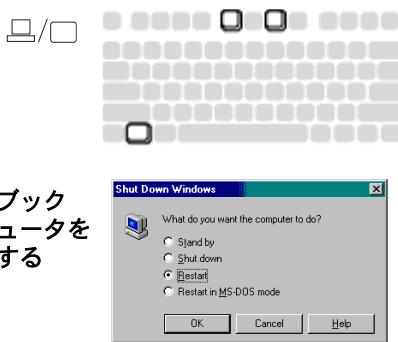
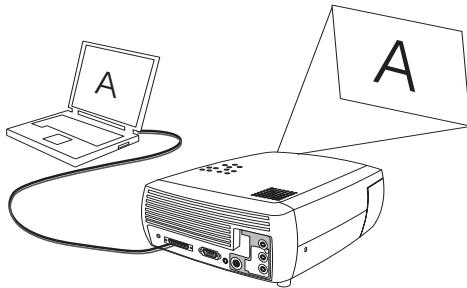
画面にイメージが正しく表示される場合は、次のセクションに進んでください。イメージが正しく表示されない場合は、セットアップのトラブルシュートを行います。

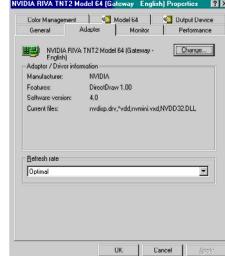
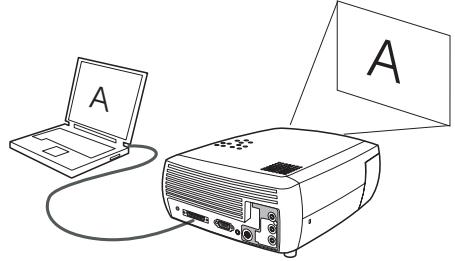
プロジェクタのキーパッド上部にある LED は、プロジェクタの状態を示しトラブルシュートに役立ちます。

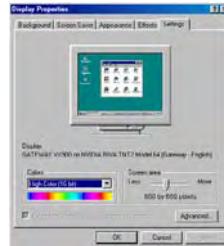
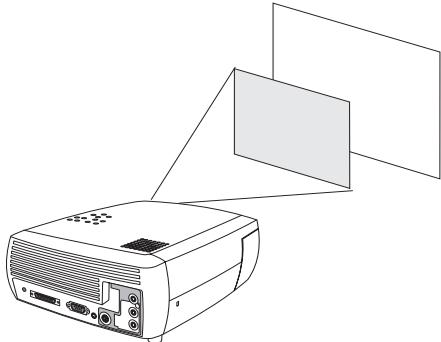
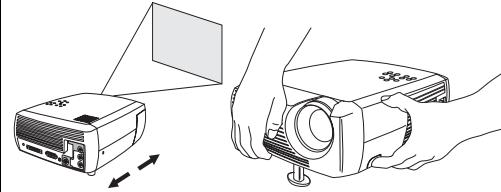
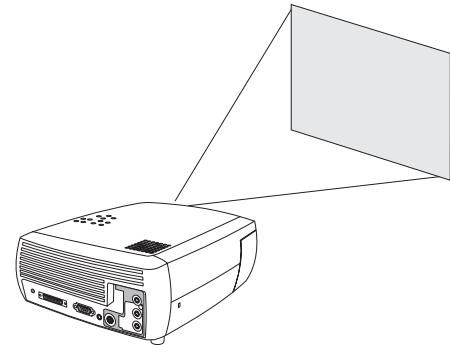
表 I: LED の動作と意味

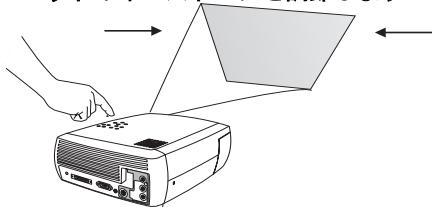
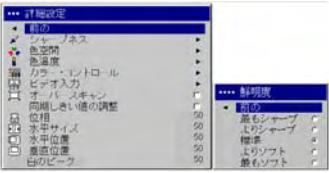
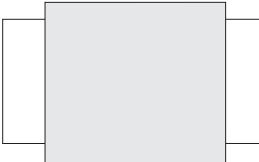
LED の色 / 動作	意味
緑に点灯	電源スイッチをオンに切り替えソフトウェアが初期化されたか、電源がリモートコントロールを使ってオフにされました。
緑に点滅	電源ボタンがオンになりソフトウェアが初期化されたか、プロジェクタの電源がオフになったがランプの冷却用にファンが回転しています。
赤に点滅	ファンまたはランプが故障しています。通気口が塞がれていないかどうかを確認してください（28 ページを参照）。プロジェクタの電源を切り 1 分間待機してから、プロジェクタを再度オンにします。ランプの寿命時間（42 ページ）を超えた場合は、ランプを交換して、ランプタイマーをリセットします。問題が解決できない場合は、テクニカルサポートまでお問い合わせください。
赤に点灯	識別できないエラー：テクニカルサポートにお問い合わせください。

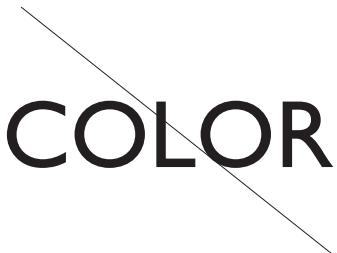
次の表に一般的な問題を示します。解決法が複数記載されている場合は、記載されている順番に解決法を試してください。問題が解決された場合は、残りの解決法は無視してください。

問題	解決法	結果
起動画面が表示されない場合	<p>電源コードをプロジェクタの左側に差し込む レンズ キャップを外す 電源スイッチを入れる</p> <p>側面の電源スイッチを入れる</p> 	<p>正しいイメージ</p> 
起動画面しか表示されない	<p>computer</p> <p>Computer ボタンを押す (◎)</p> <p>ノートブック コンピュータの外部ポートを有効にする</p> <p>ノートブックコンピュータを再起動する</p>  	<p>コンピュータのイメージが表示されます</p> 

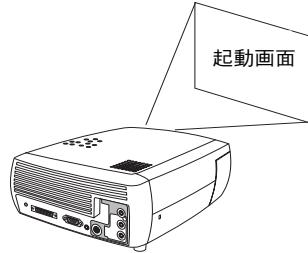
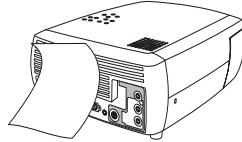
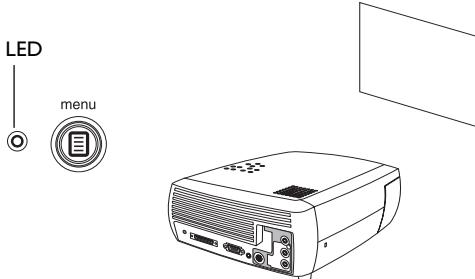
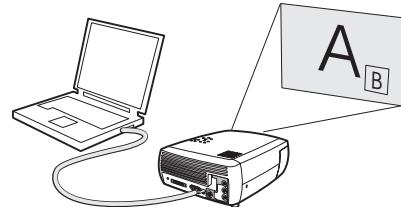
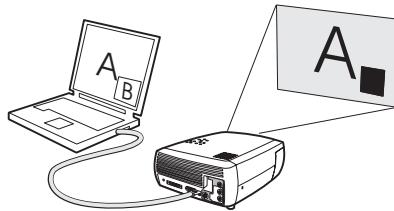
問題	解決法	結果
コンピュータのイメージが表示されず、「シグナルは範囲外です」というメッセージだけが表示される	<p>キーパッドで Auto Image ボタンを押します</p> <p style="text-align: center;">auto image</p>  <p>コンピュータのリフレッシュレートを調整する ([コントロールパネル]>[画面]>[設定]> [詳細]>[アダプタ]) (オペレーティングシステムによって場所が異なります)</p>  <p>次のような「イメージが不鮮明または途中で切れる」ような問題は、コンピュータの解像度を変更する必要が生じる場合があります</p>	<p>コンピュータのイメージが表示されます</p> 

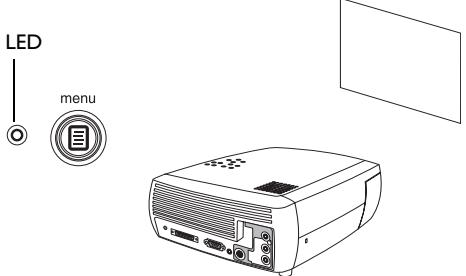
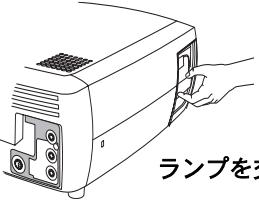
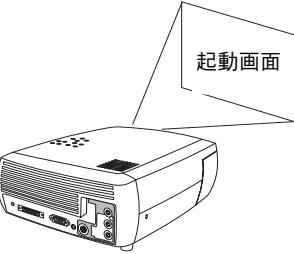
問題	解決法	結果
イメージがぼやけているまたは表示されない部分がある	<p>コンピュータのディスプレイ解像度をプロジェクタのネイティブ解像度に設定します ([スタート]>[コントロールパネル]>[画面]>[設定]タブ)。[1024x768]を選択します。</p> <p>ノートブック コンピュータでは、 ノートブックの モニタモードまた はデュアルディス プレイモードを オンにします。</p> 	<p>イメージが鮮明で完全に表示されます</p> 
イメージが画面の中央に表示されない	<p>プロジェクタを移動、ズームの調節、高さ調節を行ってください</p> <p>垂直または水平位置を調節します。 ([画像]>[詳細設定])メニュー。</p>   	<p>正しいイメージ</p> 

問題	解決法	結果
イメージが正方形ではない	キーパッドのキーストーンを調節します	正方形のイメージ
		
イメージが鮮明でない	[画像] > [詳細設定] メニューで [鮮明度] (ビデオ信号源のみ) を調節します	正しいイメージ
		
イメージが 4:3 または 16:9 スクリーンに収まらない	[画像] > [アスペクト比] メニューで画面サイズ (アスペクト比) を 4:3 または 16:9 に変更します	正しいイメージ
		

問題	解決法	結果
イメージが上下反対である	[設定] > [システム設定] メニューで [天井吊り] をオフにします	正しいイメージ
		
イメージが左右反対である	[設定] > [システム設定] メニューで [リア装置] をオフにします	正しいイメージ
		
投影された色が信号源の色と合わない	メニューで色、色合い、色温度、明るさ、コントラストを調節します	正しいイメージ
		

問題	解決法	結果
PowerPoint プrezentation に埋め込まれたビデオがスクリーンで再生できない	ノートブックの内部 LCD ディスプレイをオフにします	埋め込まれたビデオが正しく再生されます
ランプがオンにならず、LED が赤く点滅する	通気口が塞がれていないことを確認し、プロジェクタをオフにしてランプを 1 分間冷却させます	ランプがオンになります



問題	解決法	結果
<p>起動時に「ランプを交換する」というメッセージが表示されるか、ランプがオンにならず、LED が赤く点滅する</p> 	<p>ランプを交換します (42 ページを参照)</p>  <p>ランプを交換します</p>	<p>ランプがオンになります</p> 

プロジェクタの使用にまだ問題がある

この製品のトラブルシューティングには、ウェブサイトをご覧ください。または、InFocus までご連絡ください。サポート係への連絡先は、このガイドの裏カバー内側に記載されています。この製品には限定保証が付属しています。代理店から延長期間の保証を購入していただくこともできます。修理のためにプロジェクタを返送する

ときは、元のパッケージ材を使用するか、専門の梱包業者に依頼してください。機器の輸送する場合に適切な保護を提供するオプションの ATA 輸送ケースを購入していくこともできます。機器を返送する場合は、製品の価格に見合う保険をかけるようにしてください。

リモート コントロールの使い方

リモート コントロールは単3電池2個とともに出荷されています。電池は、リモート コントロールの背面にあるカバーをスライドさせて簡単に取り付けることができます。電池を挿入する際には、電池の+および-電極を合わせ収納部に収め、カバーを取り付けてください。

注意: 電池を交換する場合は、プロジェクタに付属しているタイプ以外の電池を使用すると、リモートに重大な損害を与える可能性があることに注意してください。電池を破棄する場合は、環境的に正しい方法で行ってください。

リモート コントロールを使うには、リモート コントロールをコンピュータではなく投影画面またはプロジェクタに向けます。最適な操作範囲は約4.5m(15フィート)です。

プロジェクタの電源スイッチがオフである場合は、リモート コントロールの **Power**(電源)ボタンを押しても電源は入りません。リモート コントロールからプロジェクタの電源を入れるには、プロジェクタの電源スイッチをオンにしておきます。

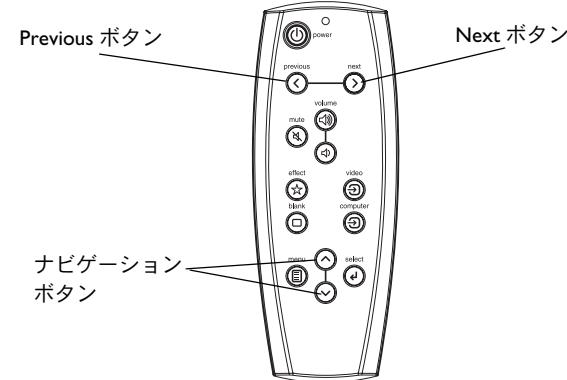
プロジェクタの使用中に、リモート コントロールの **Power**(電源)ボタンを押すと、プロジェクタがオフ状態(22ページのシャットダウン情報を参照)になります、電源が切れます。

リモート コントロールの **Menu**(メニュー)ボタンを押すと、プロジェクタのメニュー システムが開きます。矢印ボタンを使ってメニューをナビゲートし、**Select**ボタンを使ってメニューの機能を選択したり値を調節します。メニューについての情報は、35ページを参照してください。

リモート コントロールには、サウンドを制御する **Volume**(音量)および **Mute**(ミュート)ボタン、入力源を切り替える **Video**(ビデオ)および **Computer**(コンピュータ)ボタンもあります。

さらに、2つのプレゼンテーション特有の機能もあります。現在のスライドではなく空白の画面を表示するには、**Blank**(空白)ボタンを使用します(表示する色を指定できます。詳しくは40ページを参照)。フリーズやズームなどのユーザー定義可能なアクションを実行する、またはDVDを表示するアスペクト比を変更するには**Effect**(機能)ボタンを使用します(このボタンをプログラムするには40ページを参照してください)。

Previous(前)および**Next**(次)ボタンを使うと、スライドショー モードの場合に、PowerPoint プrezentationをナビゲートできます。これらのボタンを使用するには、付属のコンピュータケーブルのUSBコネクタをコンピュータに接続します。最初にUSBコネクタをコンピュータに接続した場合は、[新しいハードウェアの追加] ウィザードが表示されます。正しいUSBドライバの読み込みについて詳しくは、16ページを参照してください。



リモート コントロールのトラブルシューティング

- 電池が正しい方向に収納されていることを確認してください。また、電池が切れていないかも確認します。
- リモート コントロールはコンピュータではなくプロジェクタまたはスクリーンをポイントします。プロジェクタからの距離が約4.5m(15フィート)以内であることを確認してください。最良の結果を得るには、リモートをスクリーンに向けます。
- PowerPointのスライドを進める場合は、USBケーブルが接続されているかどうかを確認してください。USBケーブルを使用している場合は、正しいドライバがインストールされていることを確認してください。

オーディオの使い方

プロジェクタのスピーカを使用する場合

プロジェクタのスピーカを使用するには、入力源をプロジェクタのコンポジットコネクタにある **Audio In** (オーディオ入力) コネクタ (**L/R**) に接続します。

音量を調節するには、キーパッドまたはリモートコントロールの **Volume** (音量) ボタンを使用してください。

消音するには、リモートコントロールの **Mute** (ミュート) ボタンを押します。

オーディオのトラブルシューティング

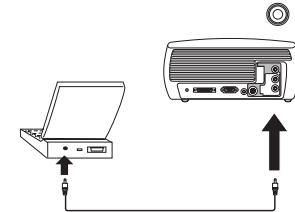
オーディオが聞こえない場合は、次の項目をチェックしてください。

- オーディオケーブルが接続されている。
- 消音を使用していないことを確認する (リモートコントロールの **Mute** (ミュート) ボタンを押す)。
- 音量が十分な大きさに調整されている キーパッドまたはリモートコントロールの **Volume** (音量) ボタンを押します。
- 正しい信号源がアクティブになっていることを確認します。
- オーディオの信号源を調整します。
- ビデオを再生している場合は、再生機能が一時停止になっていないことを確認します。

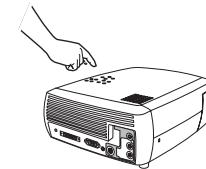
外部スピーカーの接続

プロジェクタを独自の電源を使用する外部スピーカーに接続できます。これには、スピーカーのケーブル (付属していません) をプロジェクタの **Audio Out** (オーディオ出力) コネクタに接続します。

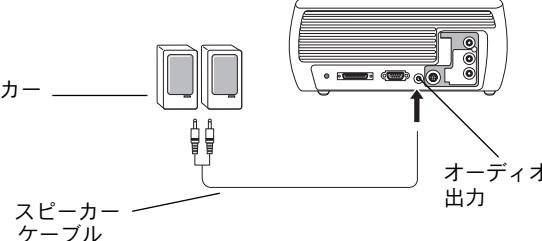
オーディオケーブルを接続



音量の調節



外部スピーカー
同時の電源



キーパッド ボタンの使用

ほとんどのボタンは他の節で詳しく説明されています。ここでは、その機能の概要を説明します。

Menu - スクリーンメニューを開きます (35 ページ)。

Select - メニューの項目を選択します (35 ページ)。

上 / 下方向矢印 - メニューをナビゲートし、設定を調節します (35 ページ)。

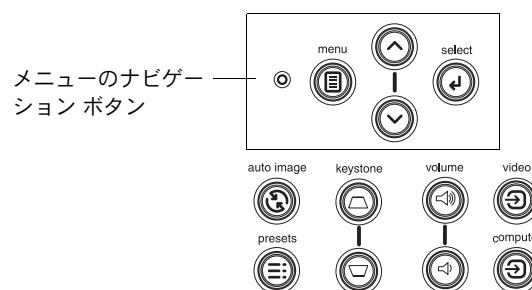
Auto Image - プロジェクタを信号源にリセットします。

Presets - 利用できるモードを切り替えます (37 ページ)。

Keystone - イメージの正方性を調節します (14 ページ)。

Volume - サウンドを調整します (31 ページ)。

Video および **Computer** - アクティブな入力源を変更します。



コンピュータ イメージの最適化

コンピュータを正しく接続しコンピュータのイメージが画面に表示されたら、画面のメニューを使用してイメージを最適化できます。メニューの使い方に関する一般的な情報には、35 ページを参照してください。

- ・ [画像] メニューで [キーストーン修正], [コントラスト] または [明るさ] を調節します (36 ページ)。
- ・ [アスペクト比] を変更します。入力信号源に最適なオプションを選択します (36 ページ)。
- ・ [詳細設定] メニューで [色温度] を調節します (38 ページ)。
- ・ [詳細設定] メニューで [位相], [水平サイズ], [水平位置], [垂直位置] を調節します (38 ページ)。
- ・ 特定のソース用にイメージを最適化したら、[ガンマ補正] を使ってその設定を保存できます。これで、設定を後で素早く利用することができます (37 ページ)。

プレゼンテーション機能

プレゼンテーションをより簡単に行うための機能が付属しています。次に概要を示します。詳しくは、メニューの節を参照してください。

- ・ リモート コントロールの Effect ボタンを使うと、ボタンにさまざまな機能を割り当てることができます。デフォルトのエフェクトは [インフォメーション] 機能で、プロジェクトと現在のソースに関する情報が表示されます。キーには、[空白画像], [消音], [アスペクト比], [入力源], [自動調整], [フリーズ], [インフォメーション] 機能を割り当てることができます。詳しくは、40 ページを参照してください。[フリーズ] エフェクトを使用すると、表示されているイメージをフリーズできます。これは、イメージを画面に表示しないでコンピュータでイメージを修正するような場合に便利です。マスクエフェクトを使うと、イメージの部分を黒いカーテンで隠すことができます。
- ・ リモート コントローラの Blank ボタンを使用すると、アクティブな信号源の代わりに空白の画面を表示できます。この画面の色を変更することもできます (40 ページ)。
- ・ [起動ロゴ] メニューのオプションを使用すると、デフォルトの起動画面を黒またはデフォルト画面で表示するかを変更できます (40 ページ)。
- ・ [節電] および [スクリーンセーバー] の 2 つのオプションは、特定の時間内に操作が何も行われなかった場合にプロジェクトを自動的にシャットダウンしたり、黒い画面を表示するためのオプションです。これはランプの寿命を延ばすのに役立ちます (39 ページ)。

ビデオ イメージの最適化

ビデオデバイスを正しく接続してイメージが画面に表示されたら、画面のメニューを使用してイメージを最適化できます。メニューの使い方に関する一般的な情報には、35 ページを参照してください。

- ・ [画像] メニューで [キーストーン修正], [コントラスト], [明るさ], [色], [色合い] を調節します (36 ページ)。
- ・ [アスペクト比] を変更します。入力信号源に最適なオプションを選択します (36 ページ)。
- ・ リモートコントロールの Effect ボタンを使うと、ボタンにさまざまな機能を割り当てる事ができます。デフォルトのエフェクトは [インフォメーション] 機能で、プロジェクタと現在のソースに関する情報が表示されます。キーには、[空白画面], [消音], [アスペクト比], [信号源], [自動調整], [フリーズ], [インフォメーション] 機能を割り当てる事ができます。詳しくは、40 ページを参照してください。
- ・ [鮮明度] 設定を選択します (38 ページ)。
- ・ [カラー コントロール] を使って色のゲインを調節します (38 ページ)。
- ・ [色温度] を調整します。リストされている値を選択します (38 ページ)。
- ・ オーバースキャンをオンにすると、イメージの縁にあるノイズを削除できます。

プロジェクタのカスタマイズ

特定のセットアップやニーズに合わせてプロジェクタをカスタマイズできます。これらの機能について詳しくは、39 ページ～41 ページを参照してください。

- ・ リア装置投影には、[設定] > [システム設定] からリア装置モードをオンにします。
- ・ 天井吊り投影には、[設定] > [システム設定] から天井吊りモードをオンにします。
- ・ 電源投入時にプロジェクタがアクティブなビデオのソースをどの種類からチェックするかを指定します。
- ・ リモートコントロールで Effect ボタンの機能を指定します。
- ・ プロジェクタのディスプレイメッセージをオンおよびオフにします。
- ・ 節電機能をオンにします。
- ・ 空白画面と起動ロゴの色を指定します。
- ・ メニューを表示する言語を指定します。
- ・ アクティブな信号源の設定をモードとして保存します。

メニューの使い方

メニューを開くには、キーパッドまたはリモートコントロールの **Menu** (メニュー) ボタンを押します。(ボタンを押さない時間が 60 秒以上続くとメニューが自動的に閉じます。)[メインメニュー] が表示されます。矢印ボタンを使って選択を上下し、使用するサブメニューをハイライトしてから、**Select** (選択) ボタンを押します。

メニュー設定を変更するには、**Select** (選択) を押してから、上下矢印ボタンを使って値を調整、ラジオボタンを使ってオプションを選択、またはチェックボックスを使って機能のオンとオフを切り替えます。**Select** (選択) を押して変更を適用します。矢印ボタンを使って他の設定にナビゲートします。調整が完了したら [前の] までナビゲートし、**Select** (選択) を押して前のメニューに戻ります。 **Menu** (メニュー) ボタンを押してもメニューを開じることができます。

メニュー名の前に点が表示されます。この点はメニューのレベルを示し、1 ~ 4 つの点が表示されます。点が 1 つの場合はメインメニュー、点が 4 つの場合はネストされているメニューの最も下位のレベルであることを示しています。

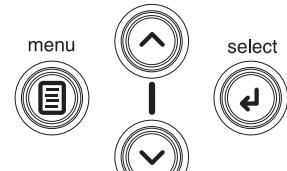
メニューは次のように利用目的によってグループ化されています。

- [画像] メニューではイメージの調整を行います。
- [設定] メニューでは、頻繁には変更しないタイプの調整を行います。
- [インフォメーション] メニューは、プロジェクトおよび入力源の情報を表示する読み取り専用のメニューです。

接続している信号源によっては、特定のメニュー項目が表示されなかつたり、灰色に表示される場合があります。たとえば、[鮮明度] はビデオ信号源専用のメニューで、コンピュータからの信号源を使用しているときは表示されません。信号源が選択されていても、信号が存在しない場合は、メニューオプションが灰色で表示されます。たとえば、プロジェクトが DVD プレーヤーのようなビデオ信号源に設定されていても、DVD プレーヤーの電源がオフになっているとメニューオプションが灰色で表示されます。



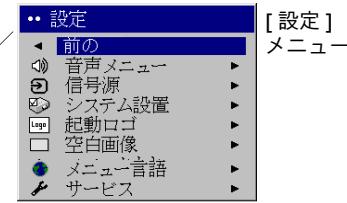
メイン
メニュー



キーパッドの
ナビゲーション
ボタン



[画像]
メニュー



[設定]
メニュー



[インフォメーション] メニュー

[画像] メニュー

次の 5 つの設定を調整するには、設定をハイライトして **Select** (選択) を押し、上下矢印ボタンを使って値を調整してから **Select** (選択) を押して変更を適用します。

キーストーン修正: イメージを垂直方向に調整してイメージをより正方形に近づけます。キーパッドからキーストーンを調整することもできます。

コントラスト: 画像の最も明るい部分と最も暗い部分の差の度合いを制御し、イメージの黒と白の量を変更します。

明るさ: イメージの強度を変更します。

色: ビデオのイメージを白黒から完全なカラーに調節します。色の設定は、ビデオ信号源にのみ適用されます。

色合い: NTSCビデオイメージの赤と緑のカラーバランスを調節します。色合いの設定は、NTSC ビデオ信号源にのみ適用されます。

アスペクト比: アスペクト比は、イメージの幅の高さに対する比です。テレビ画面は通常 4:3 です。HDTV とほとんどの DVD は 16:9 です。デフォルトは 4:3 です。

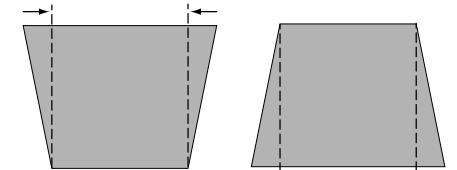
[原像解像] を選択して、プロジェクタのサイズ変更をしないで入力信号そのままによるイメージを確認します。

拡張ワイドスクリーン DVD を見るには、[16:9] を選択します。

アスペクト比について詳しくは、17 ページを参照してください。

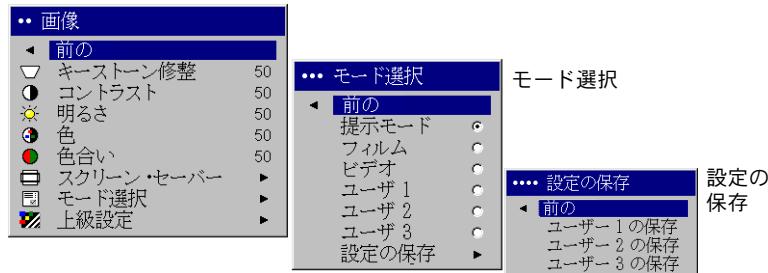


[画像] メニュー



モード選択: プロジェクタに付属のモード選択は、コンピュータプレゼンテーション、写真、フィルムイメージ、ビデオイメージを表示するために最適化されたイメージを表示するためのオプションです。フィルム入力は、ムービーなど元々フィルムカメラでキャプチャされたものです。ビデオ入力は、テレビ番組やスポーツイベントなどビデオカメラでキャプチャされたものです。まず最初に使用するモードとしてガンマ補正を使用し、各信号源の設定をさらにカスタマイズできます。カスタマイズした設定は、各ソースのガンマ補正に保存されます。工場出荷時の設定に戻すには、[設定] > [サービス] メニューで [工場出荷時リセット] を選択します(41 ページ)。

さらに、ユーザー定義可能なモード選択があります。現在のソースのモード選択を設定するには、[モード選択] メニューで [設定の保存] を選択してから、[はい] を選択します。ユーザー 1 のモードを選択して、これらの設定を呼び出すことができます。



[詳細設定] メニュー

線明度 : (ビデオソースのみ) ビデオイメージの縁の明瞭さを変更します。鮮明度設定を選択します。

色空間 : このオプションは、コンピュータおよびコンポーネント ビデオ信号源に適用されます。このオプションにより、入力信号用に特別に調整された色空間を選択できます。[自動判別] が選択されている場合は、プロジェクトタグが規格を自動的に判断します。異なる設定を選択するには、[自動] をオフにしてコンピュータ入力源には [RGB]、コンポーネント ビデオ入力源には [SMPTE240]、[REC709]、[REC60] のいずれかを選択します。

色温度 : 色の強度を変更します。リストされている相対温度値を選択します。

カラー コントロール : 赤、緑、青のゲイン（色の相対的な暖かさ）とオフセット（色の黒の両）を個別に調節できます。

ビデオ入力 : [自動判別] に設定されている場合は、プロジェクトタグが受信する入力信号を基にビデオ規格が自動的に判断されます。（ビデオ規格オプションは、お使いの地域によって異なります。）プロジェクトタグが正しい規格を検出できない場合は、色が正しく表示されなかつたり、イメージが「破れる」場合があります。この場合は、[ビデオ入力] メニューから [NTSC]、[PAL]、[SECAM] を選択して、手動でビデオ規格を選択します。

オーバースキャン : (ビデオソースのみ) ビデオイメージの周りにあるノイズを取り除きます。

同期しきい値の調整 : DVD プレーヤなどのハードウェア デバイスが、プロジェクトと正しく同期していない場合は、このオプションを選択して、プロジェクトと接続しているときの同期を調節できます。

次の 4 つのオプションは、コンピュータ信号源のみで利用できます。

位相 : コンピュータ信号源の水平相を調整します。

水平サイズ : コンピュータ信号源の垂直走査を調整します。

水平 / 垂直位置 : コンピュータ信号源の位置を調整します。

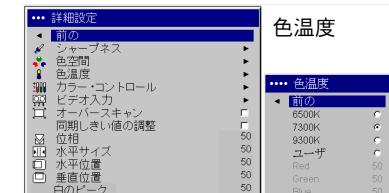
白のピーク : 白の明るさを 100% 近くまで増加させます。



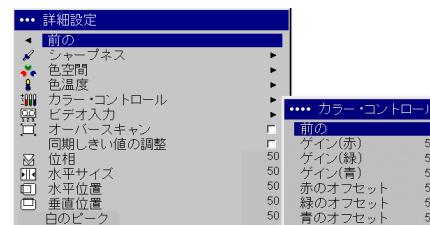
線明度



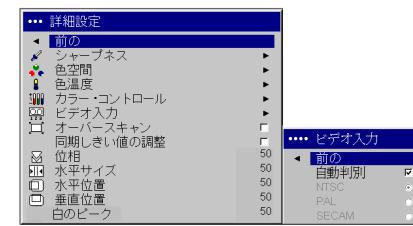
色空間



色温度



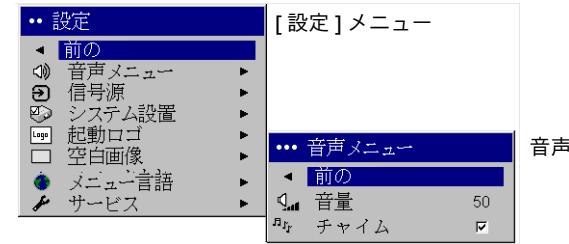
カラー コントロール



ビデオ入力

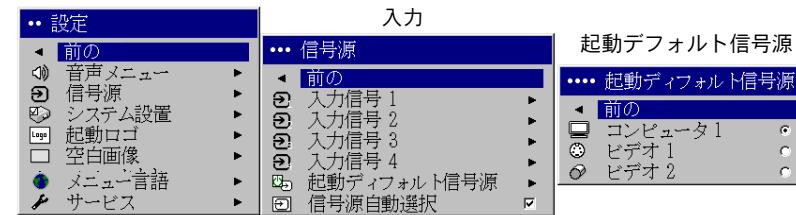
[設定]メニュー

音声：内部スピーカの音量を調節できます。また、プロジェクタの起動時にチャイムを鳴らすことができます。プロジェクタのキーパッドおよびリモートコントロールから調節できます。



信号源 : [起動デフォルト信号源] このオプションは、起動中にアクティブなビデオに対してどの信号源かをプロジェクタが判断するオプションです。[**信号源自動選択**] 機能をオンにすると、プロジェクタが選択した起動デフォルト信号源を初めにチェックしてアクティブな信号源を自動的に検出します。オプションは、コンピュータ、プログレッシブDVD、またはHDTV信号源では [コンピュータ1]、ビデオ信号源では [ビデオ1] (S-ビデオ接続) および [ビデオ2] (コンポジットビデオ接続) です。この機能がオフの場合は、プロジェクタは [起動デフォルト信号源] で選択されている信号源をデフォルトとして使用します。ほかの信号源を表示するには、リモートコントロールまたはキーパッドで**Computer**(コンピュータ)または**Video**(ビデオ)ボタンを選択する必要があります。

システム設定 > リア設置：透明なスクリーンの後ろから投影できるようにイメージを逆にします。**天井吊り**：天井吊りでプロジェクタを設置した場合に正しくイメージを投影できるようにイメージの上下を逆にします。**ローパワー**：オンとオフを切り替えます。オンにするとランプのライト出力を下げます。これは、ファンの回転速度も下げるため、プロジェクタの音が静かになります。**メッセージ表示**：画面の左下隅にインフォメーションメッセージを表示します（「検索中」や「消音」など）。**スクリーンセーバーのオフ**：コンピュータでスクリーンセーバーを使用しないように強制します。**節電**：20分間信号が検出されない場合にランプを自動的にオフにします。さらに10分間信号が検出されない状態が続くと、プロジェクタの電源が切れます。プロジェクタの電源が切れる前にアクティブな信号を受信すると、イメージが再度表示されます。その後10分間信号が検出されない状態が続くと、プロジェクタの電源が切れ、オフになります。プロジェクタの電源が切れる前にアクティブな信号を受信すると、イメージが再度表示されます。節電機能が使用可能になっている場合は、スクリーンセーバーは使用不可になります。**スクリーンセーバー**は、事前に指定された分数が経った後も信号が検出されなかった場合は、黒を使って空白の画面が自動的に表示されます。アクティブなソースが検出されるか、リモートコントロールかキーパッドのボタンを押すとイメージが再度表示されます。



起動ロゴ：は、起動時に信号源が検出されなかった場合は、デフォルト画面の代わりに空白の画面を表示できます。

空白画像：は、リモートコントロールの Blank ボタンを押したときに表示する色を指定します。



機能：機能を簡単に素早く使用できるように、リモートコントロールで Effect (機能) ボタンに異なるキーを割り当てることができます。機能をハイライトして Select (選択) を押して異なる機能を選択します。

- **空白画像**：空白の画面を表示します。
- **無音声**：サウンドをオフにします。
- **画面サイズ**：[4:3]、[16:9]、[原像解像] を切り替えます(17 ページおよび 36 ページを参照)。機能キーとして設定し、DVD のアスペクト比に切り替えることができます。
- **入力信号源**：利用できる信号源を切り替えます。
- **イメージリセット**：プロジェクトを信号源にリセットします(32 ページ)。
- **フリーズ**：投影されているイメージをフリーズします。
- **インフォメーション**：デフォルトの機能です。これは、プロジェクトと信号源の情報を表示するウィンドウを開きます。



言語 : オンスクリーン表示の言語を選択できます。



言語メニュー

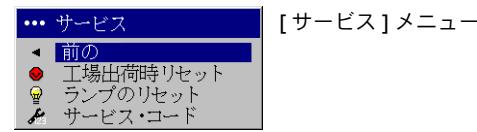
サービス : これらの機能を使用するには、機能を選択して **Select** (選択) を押します。

工場出荷時リセット : すべての設定を工場出荷時のデフォルトに戻します。

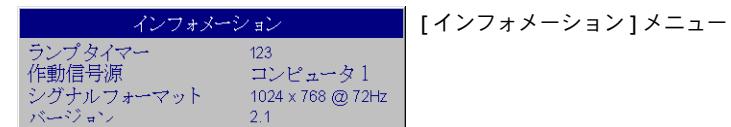
ランプのリセット : [インフォメーション] メニューのランプ時間カウンタをゼロにリセットします。これはランプを交換した場合にだけ行ってください。

サービスコード : 認定されたサービス担当者のみが利用するオプションです。

インフォメーション : プロジェクタとアクティブな信号源に関する情報を表示します。Effect (機能) ボタンに割り当てられているデフォルトの機能は、[インフォメーション] ボックスの表示です。



[サービス] メニュー



[インフォメーション] メニュー

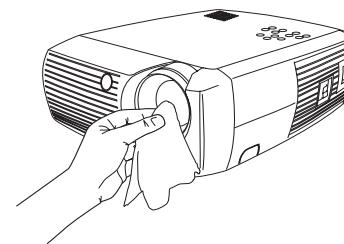
保守

レンズのクリーニング

1 研磨性でないカメラレンズ用のクリーナーと柔らかい乾いた布を使ってクリーニングします。

- クリーナーを使いすぎないように注意してください。クリーナーを直接レンズに付けないでください。研磨性のクリーナー、溶剤、強い化学クリーナーはレンズに傷を付けることがあります。

2 回転動作を使ってクリーニング用の布で軽く拭き取ります。プロジェクタを使用しない場合は、レンズキャップを装着してください。



投影ランプの交換

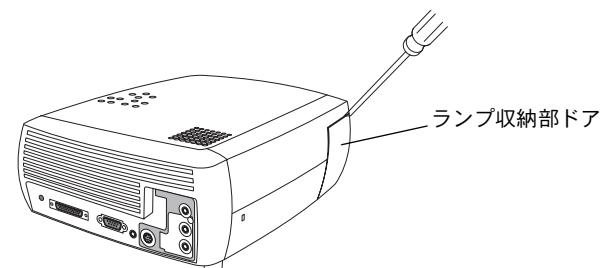
[インフォメーション] メニューの [ランプ タイマー] は、ランプが使用された時間をカウントします。ランプの寿命時間に達する 20 時間になると、プロジェクタの起動時に「ランプの交換」というメッセージが画面に表示されます。最大ランプ時間を超えると、ランプが点灯しなくなります。この場合は、ランプを交換した後でキーパッドの両方の **Volume** (ボリューム) ボタンを 10 秒間押し続けてランプ時間をリセットする必要があります。

注意: 新しいランプは代理店からご注文いただけます。詳しくは、梱包リストを参照してください。交換するランプは、元のランプと同じタイプおよび定格のものを使用してください。

1 プロジェクタの電源を切り、電源コードを外します。

2 30 分プロジェクタを放置して、完全に冷えるまで待ってください。

3 プロジェクタを横向けにして、ランプ収納部ドアを自分の方に向けます。マイナスのねじ回しの先端をランプ収納部ドアの上部とプロジェクタの間に差し込んで、ランプ収納部ドアをゆっくりとこじ開けてください。



- ランプ収納部をプロジェクタに固定している2つの内側のネジを緩めます。
- コネクタのロックタブを押し、軽く引き抜いてランプコネクタをプロジェクタから取り外します。

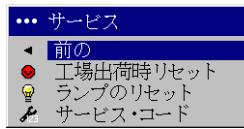
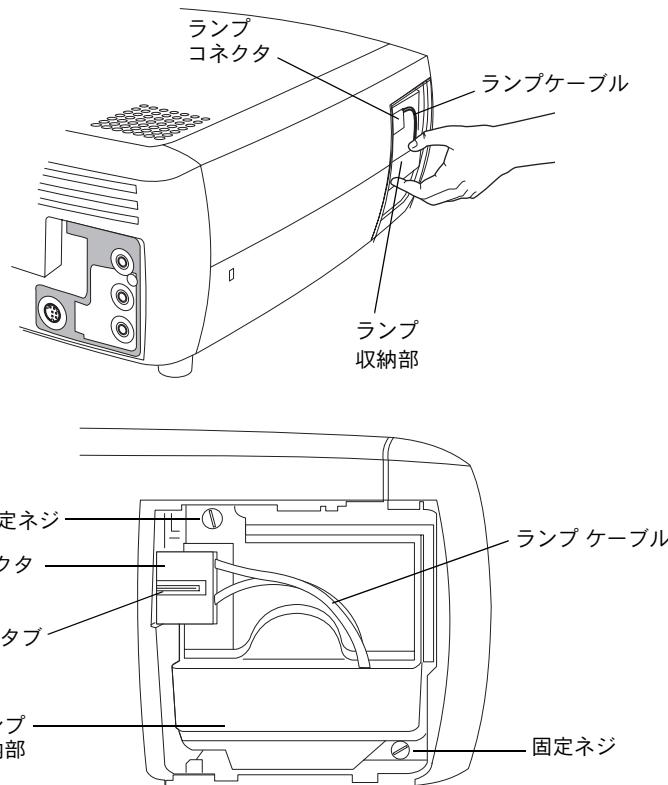
警告:

火傷を防ぐため、ランプの交換を行う前にプロジェクタの電源を切ってから30分間放置してください。

ランプ収納部を落としたり、ガラスの電球に触れないでください。ガラスが割れて怪我を招くことがあります。

ランプを収納部から外す時は十分に注意してください。稀に電球が破裂して、小さな破片が飛び散ることがあります。ランプ収納部は、電球が破裂した場合に小さな破片を飛び散らせないように設計されていますが、ランプ収納部の取り外しには十分注意してください。ランプを交換する前に、ランプ収納部をクリーニングして、クリーニングに使ったものを廃棄してください。ランプを交換した後は、手を洗うようにしてください。この製品には、ごく少量の水銀を含むランプが付属しています。この製品を廃棄する場合は、地域、州や都道府県、国の規則および法律に従ってください。詳しくは、www.eiae.org を参照してください。

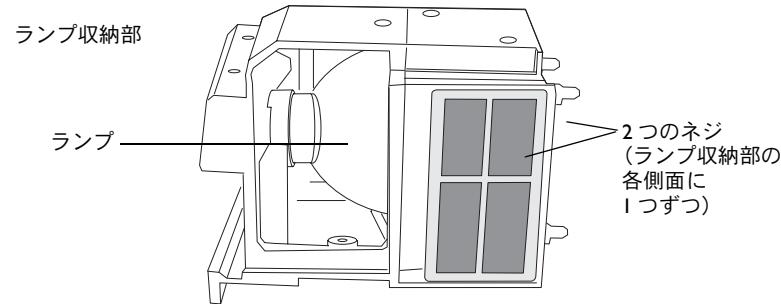
- 注意深くランプ収納部を取り外します。ランプは環境的に正しい方法で廃棄してください。
- 新しいランプ収納部を取り付けてネジを締めます。
- ランプコネクタをプロジェクタに接続します。コネクタが完全に差し込まれると、ロックタブが掛かります。
- ランプ収納部ドアを取り付けます。
- 電源コードを差し込んで、**Power**（電源）スイッチを押してプロジェクタの電源をオンにします。
- ランプ時間タイマーをリセットするには、[設定] > [サービス] メニューから [ランプのリセット] を選択します。詳しくは、41ページを参照してください。



ランプ収納部スクリーンのクリーニング

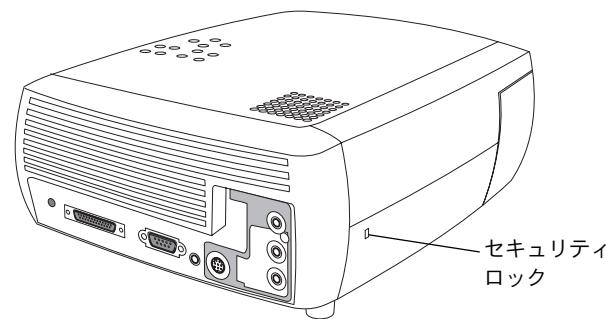
空気の悪いまたは埃の多い環境では、ランプ収納部にある2つのフィルタが詰まり、高温状態を招くためランプの寿命時間が短くなることがあります。スクリーンから埃を定期的に取ると、ランプの動作温度が下がりランプの寿命を長持ちさせることができます。ランプの寿命時間を最大限に延長するには、250時間の使用ごとにフィルタをクリーニングします。

- 1 ランプ収納部を取り外します。
- 2 ランプ収納部にある埃フィルタスクリーンを確認します。必要ならば、掃除機を低パワーに設定してスクリーンをクリーニングします。スクリーンのクリーニング時には、その他の内部コンポーネントに触れないように注意してください。
- 3 ランプ収納部と収納部ドアを取り付けます。



セキュリティ ロックの使い方

プロジェクタには PC Guardian Cable Lock System を用了セキュリティ ロックがあります。ロックの使い方はロックに付属のマニュアルに記載されている情報を参照してください。



付録

投影イメージサイズ

注意: InFocus のウェブサイトには、インタラクティブのイメージ サイズ計算ツールがあります。

表 2:
プロジェクタのスクリーンサイズに対するスクリーンまでの距離範囲

スクリーンサイズ (斜め、m/ インチ)	イメージの幅 (m/ インチ)	スクリーンからの距離	
		最大距離 (m/ フィート)	最小距離 (m/ フィート)
1.3/50	1.40	2.4/7.8	2.0/6.5
1.5/60	1.2/48	2.7/8.8	2.3/7.5
2.5/100	2/80	4.5/14.6	3.8/12.4
3.8/150	3.1/120	6.9/22.6	5.8/19.03
5.1/200	4.1/160	9.3/30.5	7.7/25.2

赤い LED とプロジェクタのエラー

プロジェクタが正しく動作せず、LED が赤色に点滅する場合は、**表 3** を参照して可能性のある原因を調べてください。点滅サイクルの間隔は 2 秒です。赤い LED のエラーコードについて詳しくは、InFocus のウェブサイトを参照してください。

表 3:

赤い LED	説明
1 回の点滅	ランプが 5 回の試行後も点灯しませんでした。ランプおよびランプ収納部ドアがしっかりと固定されているかどうかを確認してください。
2 回の点滅	ランプの使用時間がランプの寿命時間を超えました。ランプを交換してランプ時間カウンターをリセットしてください。
3 回の点滅	プロジェクタがシャットダウンされました。ランプ収納部ドアが開いていないかどうかを確認してください。ランプ収納部ドアが閉まっている場合は、プロジェクタをオフにして 1 分間待機してから、再度プロジェクタをオンにしてみてください。ランプが 1 分間たっても点灯しない場合は、ランプを交換します。ランプを交換しても問題が解決されない場合は、修理についてテクニカルサポート (29 ページを参照) にお問い合わせください。
4 回の点滅	ファンが動作していません。修理についてテクニカルサポート (29 ページを参照) にお問い合わせください。
5 回の点滅	プロジェクタが過熱しています。通気口が塞がれていないことを確認してください。通気口から物体を取り除いても問題が解決されない場合は、修理についてテクニカルサポート (29 ページを参照) にお問い合わせください。